

2025(令和7)年 8月 28日

加盟園及び加盟支援センター 様

熊本県地域子育て支援センター事業連絡協議会
会長 小岱 紫明[公印略]

2025(令和7)年度 熊本市子育てネット 代表者研修会の開催について(ご案内)

「ナショナル・カリキュラムに関する調査研究～ 子育て支援の立場から」

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

標記について、下記の通り開催いたします。ご多用中とは存じますが、関係職員の参加について、ご配慮下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 主 催 熊本県地域子育て支援センター事業連絡協議会(熊本市子育てネット)
2. 日 時 2025(令和7)年 9月 22日(月) 13時 30分 — 16時 40分
3. 会 場 熊本県総合福祉センター 研修ホール(5F)
熊本市中央区南千反田町 3-7 TEL 096-322-8440
4. 研修名 熊本市子育てネット 代表者研修会
5. 演 題 「ナショナル・カリキュラムに関する調査研究～ 子育て支援の立場から」

6. 開催提案の趣旨:

昨年全国プレセミナーを実施する中で出てきたキーワードの一つに「ロールモデルの減少」があった。これは生まれてくる子どもが少なすぎて、大人になるまで赤ちゃんを殆ど見たことがない(どう育てていいかわからない)！という若者が増えていく事を示唆していないだろうか。

児童福祉法第10条には「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有する」とあり、こどもの権利条約には「父母又は場合により法定保護者は、児童の養育及び発達についての第一義的な責任を有する」としてある。

しかし、子育てにおける責任を『家庭』にフォーカスしてしまうと、『社会的責任』という事が軽んじられるということにならないだろうか。

子育て支援の立場から、ここは明確に整理をする必要はないだろうか。

例えば子ども家庭庁から出された「はじめの100か月～」は子育てにとって非常に大事なことが押さえられている。しかし果たして今の・そしてこれからの保護者に、それ等理念の実行を求めるのは現実的にかなり厳しく、かつ限定的にならないだろうか。

ましては少子社会。子育てのロールモデルを知らないまま大人になる若者は今後も増え続け、今後も都会を中心に益々苛烈さを増していってもおかしくない。

だとすれば、だれがその「役割」(「こども基本法」理念の実行と共有)を担うのか。

まずは「専門性」を有する保育士(即ち保育施設または子育て支援施設)を中心にして、この理念や具体的方法という「ロールモデル」を少しずつ保護者や社会に広げていくという選択肢の方が現実的と言えないだろうか。

そういう意味においても「ナショナル・カリキュラムに関する調査研究」は、「人口減少社会」における「保育の専門性」の重要性を問うている点で、非常に大事な課題を問題提起していると見えてくる。まずは施設長等を中心としてこの課題を共有し、こども家庭庁の発足に伴い今までとは違う新しい概念での子育て支援の将来に向かって、いち早く備えていく事を目的とし研修を企画する。

7. 参考資料 「保育通信」(全国私立保育園連盟発行) 2025年 5月号

「ナショナル・カリキュラムに関する調査研究 中間報告」(p.4～)

※ 後日、メールにて資料を送信いたします。

8. 講師 山本 一成 先生 (滋賀大学教育学部 准教授 ・

全私保連ナショナル・カリキュラム研究チーム委員)

京都造形芸術大学こども芸術大学にて保育者として勤務後、「保育現場で起こる出来事の意味を言葉にする」ことを志し、臨床教育学の研究を行う。京都大学大学院教育学研究科修了。博士(教育学)。子どもが生き生きする保育実践を探求した報告書『ひびく まぎる わきだす』が、全国私立保育連盟のホームページにて公開中。

主な著書:『生きているものどうしの想像力』(世織書房)、『3.4.5歳児保育 計画通りにいかない!ジグザグ保育がつくる子ども主体の学び』(Gakken)、『保育実践へのエコロジカル・アプローチ』(九州大学出版会)など。

9. 対象 施設長・センター長・主任保育士・副主任保育士、各市町村子育て支援担当者等

10. 定員 60名 (定員になり次第締め切ります。)

11. 研修日程

13:00	受付	15:00	研修②
13:30	開会	16:10	質疑応答
13:40	研修①	16:40	閉会 ～解散
14:50	休憩		

12. 参加費 会員園 無料 / 非会員園 3,000円(資料代等)

13. 申込方法

本紙 QR コードからお申し込み下さい。また当会ホームページ(【熊本子育てネット】で検索できます)からも申し込みが出来ます。

14. 締め切り日 9月 16日 (火)まで

15. その他

- ① 参考資料「保育通信」(2025/5 号)は申込参加者には後日 PDFにて送信いたします。
- ② ご来場の際は公共交通機関又は近隣の駐車場をご利用ください。



- ③ お申込みをされた場合でも、定員を超過していた場合はお断りをする場合があります。ご了承ください。

☆ この研修要項は当会 HP(「熊本子育てネット」と検索)からダウンロードできます。

熊本県地域子育て支援センター事業連絡協議会
(通称：熊本子育てネット)
事務局：橘孝昭（ひかり保育園内）
Tel：0964-22-0495 Fax：0964-22-7034
Mail：j-hikari@jasmine.ocn.ne.jp